



(写真提供：外来部長 鈴木イツ子)



新しい研修医制度について

名城病院長 早川 哲夫

今春から卒後臨床研修が必修となりました。終戦直後に米国から導入したインターン制度は多数の診療科を回って幅広い経験ができる制度であり、それ自体はよい制度でした。政府は最も大切な生活保障と指導体制の整備を怠ったため、二十年后に崩壊しました。その後発足した臨床研修制度は医師国家試験合格後に臨床研修を努力目標として掲げたのみで、改善の努力はみられませんでした。

その後、医学医療の分野の進歩はめざましく、医師の修得すべき情報量や技術は個人の能力を超え、医療の専門分化はさけられない現実となりました。診療も専門別あるいは臓器別診療に移行してきました。臓器別診療は複数疾患に同時にかかり難い青年層には効率の良い手法ではあるが、複数臓器に障害のある高齢層には良い手法でないことがわかってきました。医療の本質は人を全体としてみることであり、多様な価値観を持った人にも適切に対応できなければなりません。

日常多くみられる疾患に対する基本的な診療能力の修得に加えて、社会人として通用する常識と人格を身につける必要があります。さらに、常に進歩する現代社会では、

既存の知識を学ぶと同時に、未知の解決すべき問題に出合った時にこれをまわりの人達と協力して解決する技術と心構えを学ぶことが大切です。困った人の力になろうとする気持ちを養う必要があります。

日本の医療制度は国際的には最もすぐれた成果をあげていると評価されています。少ない予算で、いつでもどこでもかかることができ、世界一の長寿国ともなりました。一方、国民の医療に対する満足度は先進国では低い方です。日本の医師は多数の患者をみなければならぬので、説明する時間が少ないのと対話能力が高くない？日本人は自分のことを自分の責任で選ぶことが不得意である、医師の方も患者や家族が重い病气やけがの不安で平常心を失って、医師の説明などほとんど頭に入らないなどは夢にも思っていない、などのことが重なったためかもしれません。

卒後研修必修化を機に、医師も、患者も、国民も、日本の医療はどうあるべきかを考えて、その思いを研修医をはじめ、日本の若者に伝える努力をしましょう。安全な良い医療は日本人の安全にかかせません。手問、ひま、金をかける価値があると思いません。皆様の協力を期待しております。

病院からの お知らせ

「逆紹介」への ご協力をお願い

名城病院では、通院中の患者さまのうち、病状が比較的安定してみえる患者さまを対象として、皆さまの「かかりつけ医」の先生方にご紹介し、治療を継続していただく「逆紹介」をお願いしております。入院治療もすみ、病状が安定している患者さまで、通院や診療待ちが大変な方は、この機会に当院の主治医までご相談ください。

「ミニギャラリー」 の開設

名城病院では、1Fエレベーターホール西側にミニギャラリーを開設しております。職員並びに患者さまから提供いただいた写真または絵画を展示しておりますので、待ち時間等にご鑑賞ください。また、展示作品を募集しておりますので、ご展示いただける写真または絵画がございましたら、当院庶務課までお申し出ください。

名城病院看護部長に 就任して

看護部長
野村裕子



4月1日より、皆様と一緒に名城病院で勤務させていただいている、看護部長の野村裕子と申します。

創立40余年の歴史を持つ名城病院で勤務できることを光栄に感じておりますが、看護部、医局、コメディカルの皆様のご指導とお力添えがあって、二カ月大過無く過ごせたのではないかと思います。

これからは、病院の果たすべき使命とあるべき姿として名城病院の理念に掲げられている5項目を念頭に、誰からも「親しまれ、信頼され、喜ばれる病院」であり続けられるよう看護部一丸となり、患者様にとって最良の看護サービスが提供できるように努力したいと考えています。

まだ解らない事が多く、様々な部署に突然出没していろいろ質問することもあります。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

インプラント治療で第二の永久歯を！

歯科口腔外科部長
川合道夫



歯科口腔外科についてご紹介します。当科の診療域は歯科口腔外科全般にわたっていますが、高度なレベルを保つため日夜努力しています。例えば外来では耐久性とコストの面から実現困難であった歯牙切削用器具（タービンヘッド）を数年前から患者さん毎に滅菌したものと交換して無菌的な治療を実現し、この地域の先駆けとなっています。また入院手術症例では悪性腫瘍、顎変形症、顔面多発骨折など大きな手術を要する症例からインプラントや親知らずの入院抜歯まで確かな技術で対応し、中央手術室での手術件数はこの地方でも屈指の存在です。

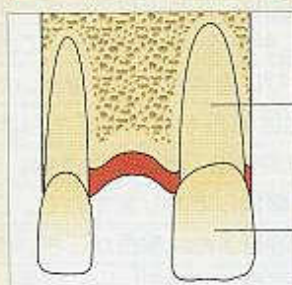
さて今回はインプラント治療について詳しくお話しします。インプラント治療については多くの方々が既にご存じかと思いますが、実際の治療内容についてはまだ十分な理解が得られていないような気がします。今まで歯を失うと入れ歯やブリッジで噛む機能を再建して来ましたが、インプラント治療は顎の骨に直接人工歯根を植え込むことで生まれながらに持っている歯根と同じように歯冠をしっかりと支えるので噛む機能が甦ります。いわば第二の永久歯と言

えますね。

当科では最も歴史があり、安全性の確立されたスウェーデンのブローネマルクスシステムインプラントを十数年前より他施設に先駆け導入しています。しかし、最近では一般の歯科医院でもインプラント治療が受けられるようになりましたので、顎の骨が十分でなく骨の移植（ボーングラフト）が必要であったり、糖尿病や循環器疾患などの全身疾患のある症例など高度な技術を要する難しい症例が紹介などで多く集まるようになって来ました。

そこで当科では患者さん自身の血液から容易に分離することができ、傷の治癒に促進的に作用する多血小板血漿（PRP）や特殊な膜（メンブレン）を使って邪魔な細胞の侵入を防いで骨を作る細胞を骨欠損部に蓄積させ、骨の再生を行うGBR法などの最近話題の再生医療も積極的に取り入れ、この5年間で実に上下顎とも100%の生着率を達成しています。歯を無くされ入れ歯では上手く噛めない方、若い方で審美的に入れ歯に抵抗のある方などは是非ご相談ください。お待ちしております。

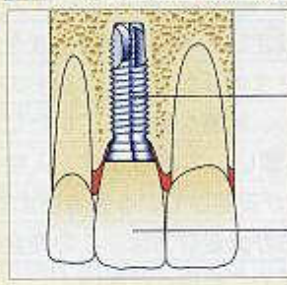
術前



歯根

歯冠

術後



人工歯根

人工歯冠

歯の黄泉がえり

失った歯冠と歯根の両方を元通りにするにはインプラント治療が唯一の方法です。



療養病棟に入院して

岡村茂子

私は、58歳。脊柱管狭窄症で入院しています。いわゆる町工場のおカミさんですが、時代が良かったのでしょうか、業績も伸び順調にやって参りました。

4人の子供にも恵まれました。財産はあげないけれど、大学は出してあげましょうという教育方針を立てました。

働き者の夫を見ていたせいか、4人とも努力家でそれぞれ思い通りに自立してくれました。何の心配もなくなりました。さあ、やっと私の出番がやってきました。老後の趣味にと卓球をやり始めたところ、これが面白くて面白くて。

どうせやるなら基本から、きれいなフォームでと、小学生、中学生と一緒に教室に入り、部活のようにやりはじめました。試合に出れば勝ち残りだし、毎日の生活が充実し、私の老後はバラ色のはずでした。

ところが、年齢を忘れていました。3年目に入り、左足が痺れ出し一歩も歩けなくなりました。この痛みから逃れたいと手術を決断。

今釜先生の診察を受けました。先生は慎重でした。手術の成功、手術に伴う危険、後遺症など、怯えるほどの説明を受け悩み続けま

当院7F病棟（整形外科）に入院しておられ、途中から10F病棟（療養病棟）に移られた患者様岡村茂子さんから投稿を頂きました。

私ども病院職員一同、とても考えさせられる内容でしたので、ここに掲載させていただきます。（広報委員会）

した。でも先生の人柄と医療に対する情熱が伝わりました。

もしもの時は、車いすになっても後悔しないと心に決め手術を受けました。

手術は大成功で、麻酔から覚めた時の足の爽快感は久しぶりに味わうものでした。あまりの嬉しさに、おもわず今釜先生の手を探し求め握手をしてしまいました。

ところが、2年間悩み続けたストレス。筋力の低下。それが、手術後に全部出てしまいました。立ち上がることさえ出来ない。リハビリどころではありません。胃痛に悩まされ胃カメラまで飲みました。今釜先生が、「10階に移りましょう。焦らずリハビリをしましょう。10階は岡村さんにとっても勉強になりますよ。」と入院を勧めてくださいました。

10階に移ってまず、なんて身体の不自由な人の多いこと。なぜそうなるのか、専門的な病名は解りません。車いす、歩行器、杖、それに紙オムツ、時には廊下にただよう便の臭い。おもわず自分の10年後20年後を想像し愕然としました。

1週間ほどが過ぎました。みんなリハビリに一生懸命です。自分で少しでも動かこうとする頑張り、

それを手助けする看護師、介護の人たち、それも20歳そこそこの若い人たちです。こんなこともありました。

洗面所で歯を磨いていたら、看護師さんが走ってきました。どうも向いの部屋のトイレからプザーが鳴ったみたいです。トイレに入って後始末をしてあげているみたいです。そのあと、「たくさん出ているよ、よかったねえ。」思わず目が点になり、その場を離れました。自分のものでも生きて臭くてよく見ず流してしまいます。なんてすばらしい！こんな世界もあるのだ！それが毎日当たり前のように続いています。

私も荒本さん（理学療法士）のおかげで随分よくなりました。今釜先生のおっしゃったとおり、私の人生観は変わりました。自分のことが自分で出来るなんて、なんて有り難いことでしょう。これからは、一日一日を大切に大切に過ごしたいと思います。私には、立派なボランティアは出来ません。でも卓球なら…。

何年か後、どこかの老人会で卓球じゃなくてピンポンを根気よく教えている姿が見かけられるかもしれません。



七夕まつり（天までとどけ…）

用度施設課

もうすぐ七夕の季節がやってまいります。今年も病院では7月5日（月）～7日（水）の間、正面玄関横に笹をご用意し、患者さんに願い事を書いていただく予定です。昨年も沢山の願い事を書いていただき、450枚余りの短冊が患

者さんの願いとともに夏の風に揺れておりました。七夕が終わり、短冊を1枚1枚笹から外していると、病院に働く者として、これらの願い事が少しでも叶うようお手伝い出来ればと願わずにはおられません。





放射線 Q & A

放射線科(画像情報室)

Q 新聞報道で「日本でがんにかかる人の3.2%が放射線診断による被ばくが原因。他の国より割合が高くなっている。」とあり不安に思っています。エックス線検査を受けても大丈夫ですか？

A 英・オックスフォード大グループの研究論文が英国の医学誌「ランセット」で報告され、今年2月の読売新聞など様々な報道となりました。研究は「英国を含む15カ国を調査対象に、各国のエックス線検査の頻度、放射線被ばく量と発がんの危険性などのデータから75歳までにがんを発症する人の数を推定したところ、日本では年間発症するがんの3.2%が医療機関でのエックス線検査による被ばくに起因すると見られ、他の14カ国における割合(0.6~1.8%)と比べて突出して高くな

っている。」という内容のものでした。

日本の研究者たちは、原爆のデータから得られたリスクを、そのままこの低線量域(医用放射線診断の領域)にまで持ち込んでいるため、過大評価であるとしています。エックス線検査は少ない線量で行われているので、心配する必要はありません。

Q 放射線診断が原因でがんになるのですか？

A いろいろと議論があるところですが、現実には微量の放射線では何も起こらないということです。微量の放射線で何が起こるかということは科学者の中で今までも盛んに議論されていますが、まだはっきりとした結論が出ていないということだけはみんなが合意しているところです。またリスクがあるとしてもそれは極めて小さいものであるという点も異論がないものです。結局のところ、「放射線診断でがんが発生するか？」という質問に答えるとする、「理論的にはゼロではないとされ

ているものの、現実的には問題ない」と言ってよいでしょう。

Q CT検査を受けたいのですが、心配はありませんか？

A 心配はありません。たとえば、おとなより放射線に弱い胎児に「奇形」が発生する放射線量は0.1グレイです。胎児も含め、0.1グレイまでの放射線なら、心配しなくてよいと言うことができます。1回の腹部CT検査で0.011グレイ、頭部CT検査では0.04グレイ程度です。

放射線科では、患者様が求める最適な画像を得るために、医師と情報交換を行い、被ばくが低減できるよう最適な技術で患者様に合わせた撮影を行っています。

CTに限らず、名城病院画像情報室では、装置の性能を最大限に引き出し、最新の技術・情報・知識を基に撮影を工夫して、患者様が必要とされている画像が的確に得られるように努力しております。どうぞ安心して検査をお受けください。



我が家のペット

はじめまして、こんにちは、私の名前はモッチーです。今年の3月で3歳になりました。いつもの日課は、ボール遊びとお父さんの靴下をくわえて振り回すことです☆いつも散歩の時、スズメちゃんより早く走ろうとしてもすぐ飛んでいってしまいます。いつかスズメちゃんをくわえるぞ(笑)私は服を着せられるのがクライなのに、みんな笑いながら写真を撮ってくるから最近、機嫌悪いです。でもそんな時、私の大好きなフライドチキンを貰う時は、超ご機嫌で「おすわり、ふせ、まて」とかしてあげてるんだ☆そのかわりチキンがなくなったらおわりね。まあ飼い主に似て自己中なんだなあ☆こんな生活送ってるんだよ

(庶務課 種村由華利)



名城病院診療等のご案内

■ 診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科
整形外科・脳神経外科・心血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311

内線2132 にお問い合わせ下さい。URL <http://www.kkr.or.jp/meijo>

※検査病棟に関するお問い合わせは、医療ソーシャルワーカー 内線5104 まで

■ 診療受付時間

新患受付 午前8:30~11:30まで

再来受付 午前8:00~11:30まで

■ 面会時間

平日 午後0:30~8:00まで

土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで

②ペビーの面会は、
午後0:30~1:30まで
午後3:30~4:30まで
午後6:30~7:30まで
の3回です。

③ICU室への面会は30分以内に限らせていただきます。

■ 診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(11月6日)

■ 所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1

TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

編集後記



新緑の候、3月には病院上げての平成15年度1年間の成果を競う小集団活動(TQM)の発表がありました。年度が変わり、4月には新しい職員も加わりました。それに次いで4日間にわたり、職員としての心構え、いち早く環境になれることができるようにオリエンテーションが実施されました。今は、心なしか華やかな雰囲気になっております。このような中で小誌も10号目を発行することとなりました。今回の「わ」には、患者様からご投稿をいただき、その声を初めて掲載させていただくことができました。こういった声は、私たち職員にとって励みになっております。そして、改めて思うことは患者様といかにコミュニケーションを大事にし、いかに信頼関係を築いていくかが大切か、実感しております。今後も新しい職員と子ども、入院されている患者様・ご家族、地域の方々や関係機関に対して安全で安心していただける病院づくりをめざしてまいります。さらに、これからも情報を発信し、皆様のご意見・ご指導をいただくことによってタイトルどおり「わ」を広げていければと願っております。 T・M